

令和5年5月9日(火)

薩摩の女（ひと）

喜入中学校の皆さんは、サブちゃんこと北島三郎が歌った「薩摩の女（ひと）」という歌をご存知ですか？この歌の作詞は星野哲郎さん、作曲は島津伸男さんです。この曲を作曲した島津伸男さんの本名は堀信義さんで、喜入前之浜町出身の作曲家です。島津伸男さんは、1969年に喜入音頭も作曲されていらっしゃいます。しかし、惜しくも10年前の2013年5月9日に亡くなりました。

今日は、島津伸男さんの亡くなった日、命日です。我が郷土喜入出身の島津さんを偲び、1968年2月10日に発売された北島三郎さんが歌った名曲「薩摩の女（ひと）」を紹介します。

義理あるひとに 背を向けて
別れてきたと 君は泣く
雨がふるふる 天文館通の
青いランプに 身をよせりゃ
ああ 悲恋の旅の ドラが鳴る

信じていたよ この胸に
いつかは帰る 女だった
肩へ廻した 男の腕に
ぐっと力を いれながら
ああ 仰げば燃える 桜島

いままで泣いた かなしみは
かならず俺が とりかえす
やがて出船の 合図はあるが
故郷で待てよと ささやけば
ああ 錦江湾に 陽がのぼる

なお、この「薩摩の女（ひと）」は1968年・昭和43年の第19回紅白歌合戦で北島三郎さんが歌った曲でもあります。